

明るい社会の土台

静岡県富士市立岩松中学校 2年

大村 早紀

小学生になった頃から、私は他の友達との違いに気づき、傷つき、また、障害をもっているということ、いじめを受けました。

(中略)

でも、今はそう思っています。私がうらやましがっていた姉が、私のために辛い日々を耐えてくれたことを知ったからです。

〔中略〕

少しでもいいからがまんすること、今はだめでもいつに努力しあえる日がくるのを信じて、少しずつでもいいから努力しあうことが、これが明るい家庭の土台になると思います。そして、明るい家庭は明るい社会を作る土台となるでしょう。――抜粋――

う。――拔粹

聴覚障害者こそ筆者の葛藤と、家族や先生方に支えられながら成長して来た過程が優れたいと思われ、ついに、いじめを受けて死にたいと思ったこと、母や姉の支え、大人への不信感。そして人間を信頼することの意味を教えた中学の先生方。こうした経験を通過して、筆者は信頼し理解すること、そうした努力を続けるということ、さややかな積み重ねが「明るい家庭・社会の土台」となると語ります。声高に福祉や障害を語ってはいいませんが、説得力のある文で、読み手に多くを考えた、是れほどの広がりのある作品です。

子どもの文化・教育研究所
理事長賞

『特攻へのレクイエム』を読んで

東京都 田園調布学園中等部 3年

松本 明日香

特攻という最後の手段を用いざるを得なかつた時代、日本という国の先行きが明るくないことに薄々感じていた人々々は、未来に希望を託すことしかできなかっただろう。自分がその立場だったと考えた時、隊員が口にした一後は頼むという一言に全てがこめられていたを感ずた。隊員が、文字通り命を賭けて守りたかものには、父母であり妻子であり、そしてそれまで自分を育ててくれた日本という国そのものだったのではないだろうか。国のために死ぬのではなく、国とその未来を守るために彼らにできたことが特攻という攻撃だったのではと思う。 抜粋

拔粹

筆者の特攻隊に対する見方が読後どのように変化し、またその根拠について論理的に説得力のある文章で表現されています。特に、特攻隊員が殉じた言葉の背後にある背景、祈りや、そうするようになった当時の苦悶を読み取って、心に優れた理解力が背景にあります。これは作品を深く読み込み、同時に死や命の意味、時代の中での生き方について自分なりにしっかりと対話しているところから、ふたまれる感じ、万々書え万です。

賞
社団法人日本児童文芸家協会
会長賞

おそらが、うみだったらしいのにな

本間 莉那

本間 莉那

うみをおよいで来た。おきなきわもが、おそから
ちよとくろいとおきなきをすいぞうか
んでおよいでいたのだ。くろいとおきなきとも
くもがおかしそうになった。じんべいめいも、
おおきなりそのなかでほかのじんべいざめ
とおかしそうなくらいにすれちがっていた
のをあかりだした。うれはすこたなえた。
じんべいざめはおかしくなかつたけど、ふたつ
のおおきいくもはうつかくておきなきにおき
なきにもなった。そうだからになつたんだ。
……とぜんあめがあつてきた。そうかうこの
あめは、くじらがしをおふいたんだ。(中略)
そうするうちにミツキー「なにがある。
だてにじがみえるんだもん。」じには、あめが
ふたあとすぐにおきさまがでてくるとみえ
るけど、おそらがうみだとしたら、くじらが
いちやうちゃんあんとうが、あたまにいてい
るんきて、みえたりしてくれたのにじができ
るんたにおもう。(抜粋)

拔粹

「空」を見て感じたことや想像を膨らましたことを、ともちうし「素直でこのびのびとした文章で読み手に伝わるように書きあげていることが、評論の基盤になりまして、利那さんの想像が、大きく、またどんどん広がっていく様子が、とてもよくかかれています。感じていることも、それを文章にすると、ことに事実に「感想の羅列で留まってしまうこと」が多いなか、利那さんの文章には、読んでいる私たちの目の前に情景を想像し描かせるける力があります。

 中央出版株式会社
社長賞

מחירים

鹿児島県 鹿屋市立南小学校 3年

今村 愛花

今村 愛花

「こゝろようのだよ。」
またはじまつた。こゝろようのわがまま。こゝろようは私の一番下の弟で、今四才。すえつ子のこゝろようはあまえんぼうでわがまま。なのにすぐ泣く。こゝろようのひつまつわざは、泣いてはく。(中略)

そんなふうようか

「あいちゃんはい、これどうぞ。」
つてプレゼントをくれた。あけてみたら、ピン
クのおり紙でおったお花と、チラシのうらに
ピンクのクレヨンでかいた絵がでてきた。

「これあいちゃんだよ。あいちゃんピンク大すきでしょう。だから全部ピンクだよ。あいちゃんいつも遊んでくれてありがとう。」
つてこうよりはニコツとした。――抜粋――

件—

「お姉ちゃん」の立場から見て、泣けば大人から守られると思つてゐるこのよう君のことをするに感じながらもやっぱりかわいいと思う素直な気持ちで、「お姉ちゃん」と「弟」のやりとりを折り返せながらテンポよくかかれています。

賞
優秀賞

初めてのカレー作り

愛知県 刈谷市立小垣江小学校 4年

南健太郎

「生まれる」とは

岐阜県 柳津町立柳津小学校 4年

速水 翔太

友達をつなぐもの

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 5年

近藤 紗矢